

会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（海岸地区）
2	日時	令和7年1月26日（日）10:00～11:00
3	場所	茅ヶ崎市立図書館
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）金子副主査 （海岸地区）参加人数：9人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アパートの管理会社等が実施する鳥獣対策について、しっかりとしたネットボックス等で行うよう市からお願いをしてほしい。 → 鳥獣対策の手法においては、各管理会社等に決めているため、市から指定するようなことはできない。問い合わせを受けている限り、ネットボックス等の購入を検討されているように感じている。 ● 収集ルートは、もう決まっているか。自宅の前の道路をセットバックして、パッカー車が入れるようになったが、パッカー車が通行するか知りたい。 → 収集ルートは、作成中であるため、まだ出来上がっていない。 ● 自宅の前の道路を、びんやかん、ペットボトルのコンテナ・ネットを集積場所に配布するためのトラックが通行しているため、パッカー車も通行するという認識で良いか。 → びんやかん、ペットボトルのコンテナ・ネットを配布するトラックと収集する車両が異なるため、同様に通行するかは現段階では分かりかねる。 ● 自宅の前の道路の先には、複数軒の戸建て住宅があり、アパートもある。長い距離を歩いて運ぶことが改善され良くなると感じており、アパートも単独で回収していただけると助かる。4月から開始であるため、収集ルートは決まっているのではないかと思うため、収集ルートを教えていただきたい。 → 収集ルートは、まだ決まっていない。基本的には、道路は全て走行することを考えてルートを作成しており、その中で道路状況に応じた最適な手法で収集していく予定である。 ● 一本の道路に面している戸建て住宅において、道路に対して片側にまとめて出さなければならないか。通りを挟んで反対側にあるお宅の敷地内に出さなければならないか。 → そのようなことではない。各戸の敷地内の道路に面した場所に出していただきたい。 ● 主に不適正排出されるのは、びんやかん、ペットボトルなどの資源物である。以

前、エリアを選定する際の説明会でも同様の意見があったと思うが、資源物も不適正排出も多くあることを承知しておいてほしい。

→ ご意見として賜る。

- 実験の検証結果を出すにあたって、市の審議会で諮られると思われるが、環境指導員以外の一般市民も入れて、かつ有識者も交えて、議論していただきたい。担当課だけで議論するのではなく、別の観点で議論ができると考えるため、そのような組織体制を考えていただきたい。

→ 市の附属機関として廃棄物減量等推進審議会というごみに関する様々な取り組みを審議していただいている会議体がある。今回の戸別収集の社会実験についても、審議会からの提案が発端となっている。実験の結果についても、審議会でも議論していただき、茅ヶ崎市にふさわしい収集方式を検討していきたいと考えている。

- 市は事業者が出すごみについて把握しているか。藤沢市や平塚市も事業者が出すごみの量などを把握していたかと思う。茅ヶ崎市内に事業者はそう多くないが、事業系ごみの減量方法について、他市の事例は参考になると思う。一つ提案として受け取って欲しい。

→ ご意見として賜る。

- 資源物のプラスチック製容器包装類の中に燃やせるごみを混ぜて出されることがかなりある。収集されなかった場合、どうしたら良いか。

→ 環境事業センターまでお問い合わせいただければ、柔軟に対応させていただく。

- 問題があった度に問い合わせして良いか。ステーションの掃除をしている中で、見つけたごみはこれまで、一度自宅に持ち帰って出し直していたが、そのようなことはしなくても良いか。

→ お問い合わせいただければ、状況を確認し、柔軟に対応させていただく。ボランティアごみの運用は、これまでどおりであるため、ご協力いただきたい。

- 鳥獣対策の手法について、市が推奨する形状のものはあるか。

→ 爪があるようなものであると壊れてしまいやすいという他市の事例はあるが、推奨する形状のものはない。それよりも、車などを傷つけてしまうなどのトラブルを回避するために排出する場所付近の駐車駐輪にご注意いただきたい。

以上